

WORLD OF CURSE

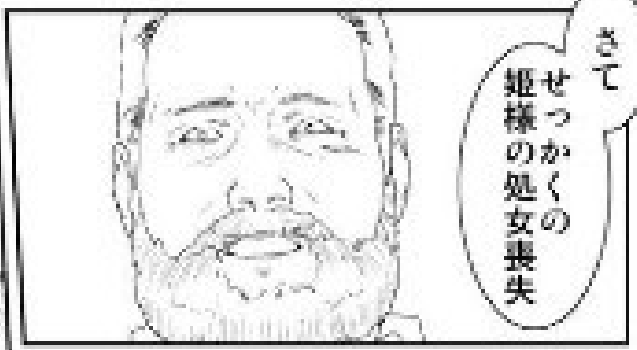
18





その女をここにまで運んできなさい

その女をここにまで運んできなさい



さて
せつかくの
姫様の処女喪失



他のものに注目を奪われるのは本意ではありません



姫様...



リサ...



くせ...
だいたいのところに

ふふ
あとでちゃんと
続きはさせて
あげますよ



それでは
始めましょうか



あなたには特等席で
姫様の処女喪失を
見せてあげましょう



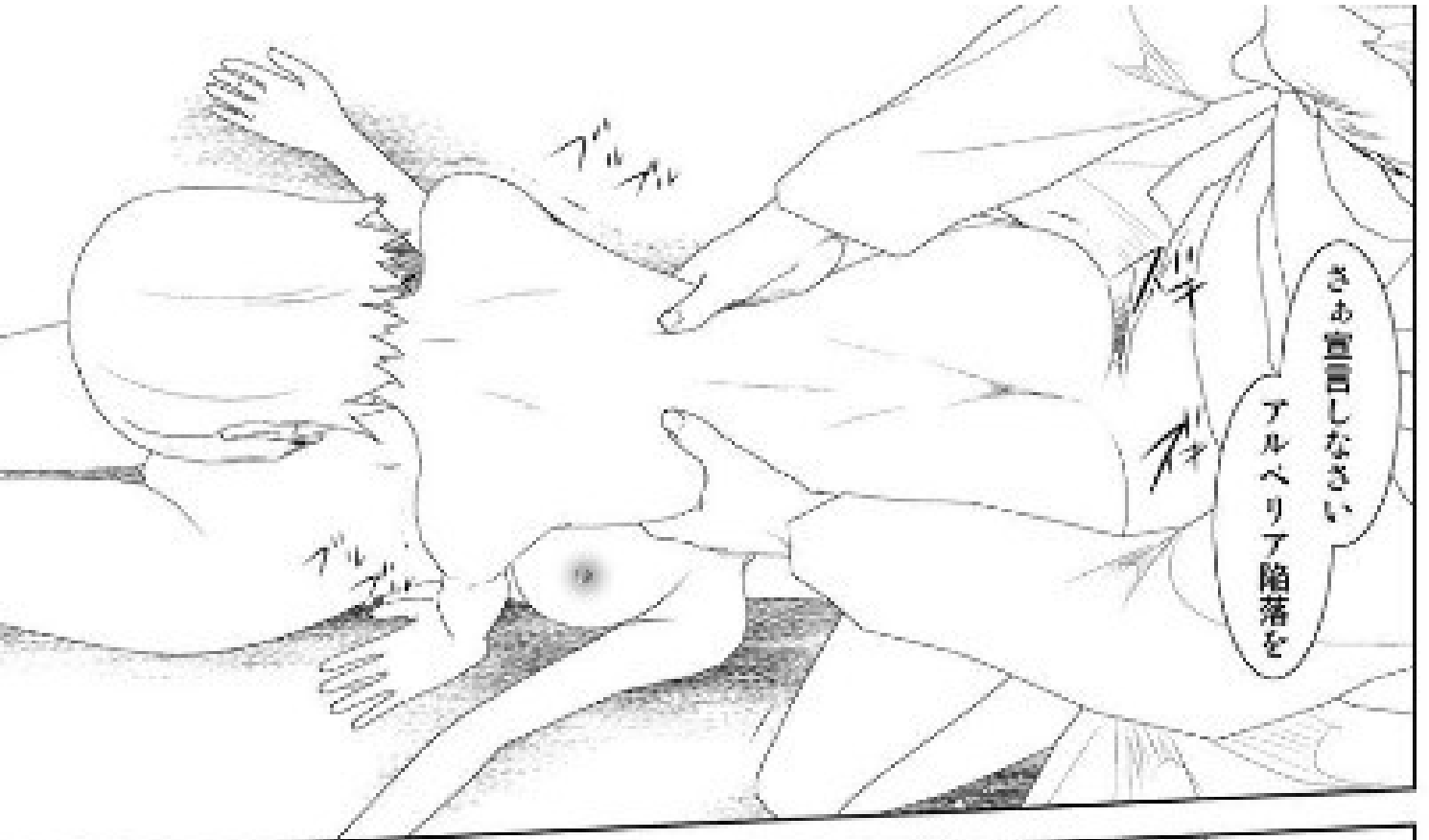
姫様
そこに
四つん這いに
なりなさい



さあみなさん
いよいよアルヘリア
終極のときですよ





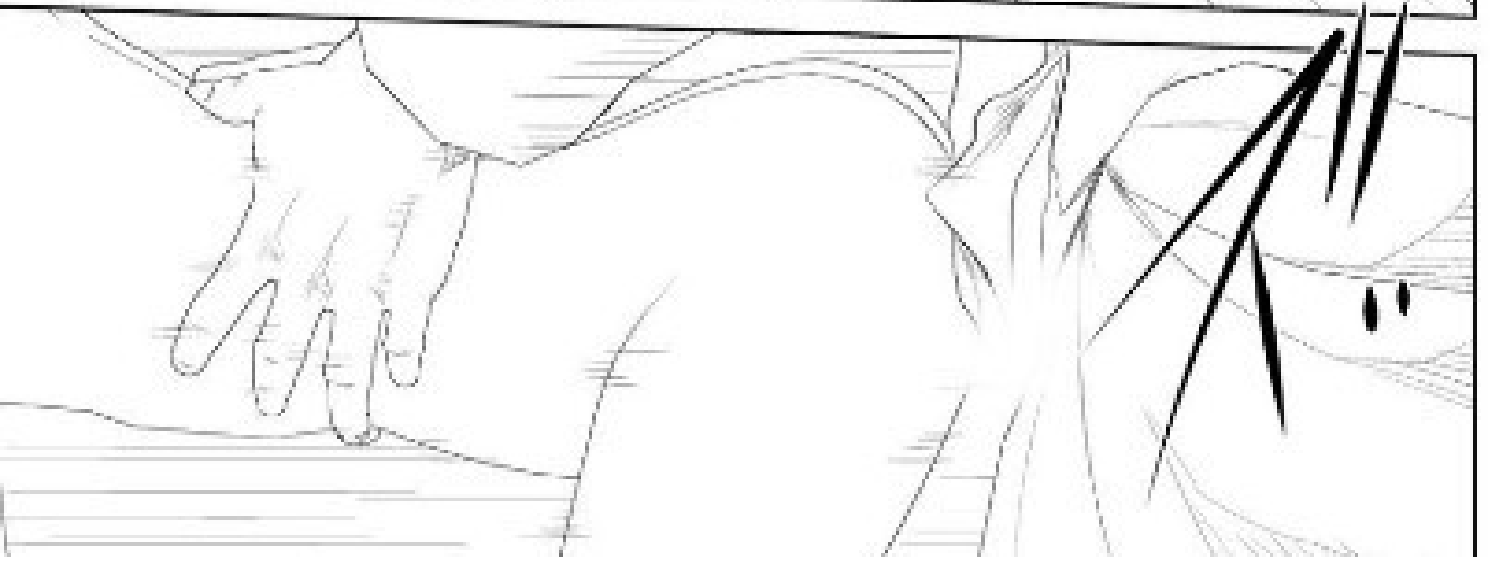


おれも顔面ごまかし、
アルヘリア陥落を



アルヘリアは…
陥落…

あ…







アルベリア...

は...

陥落...



喋れない...

痛む...

全く
チンポ一つで喋る
ことも出来ないとは
情けない姫様ですね



やめる...

やめる...

やめてくれ...

これ以上...
姫様を
穢さないで...



さすがにまだ快樂
より苦痛の方が
デカいですかな

慣れるには
もう少しかかり
そうですね



しかし時間は
この先とれだけ
でもあります

しっかり調教して
あげますからね

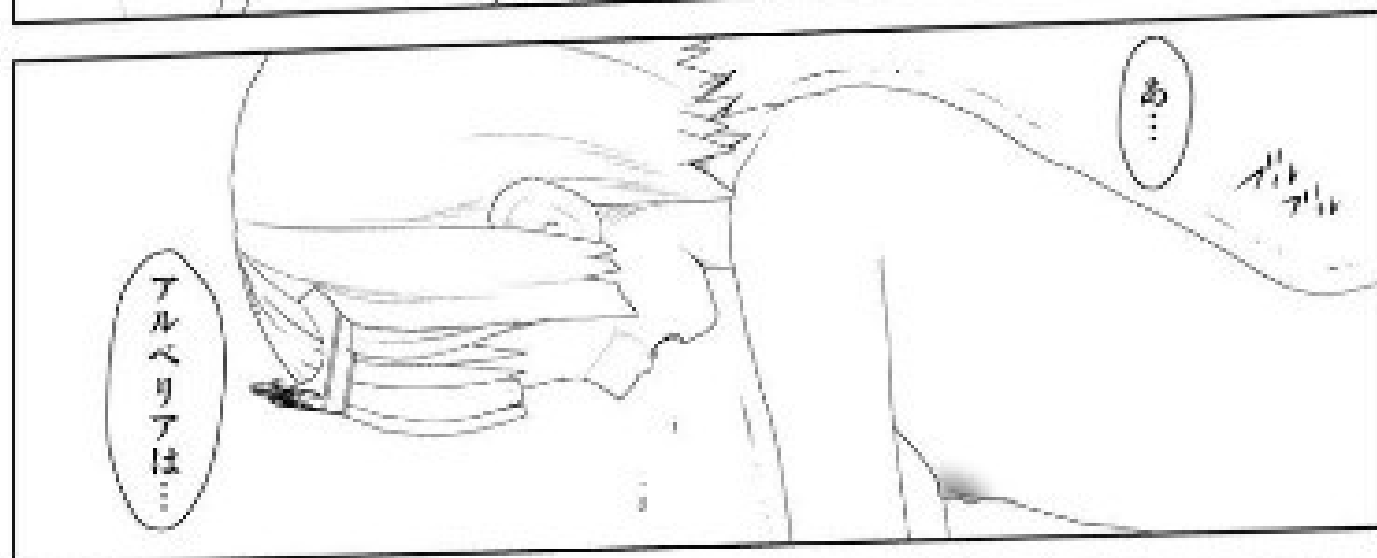


これは今日の
分のご褒美です
受け取りなさい

そんな...

いー...









それでは反対側も

よくお假合いですよ
アリス様

やや

やや

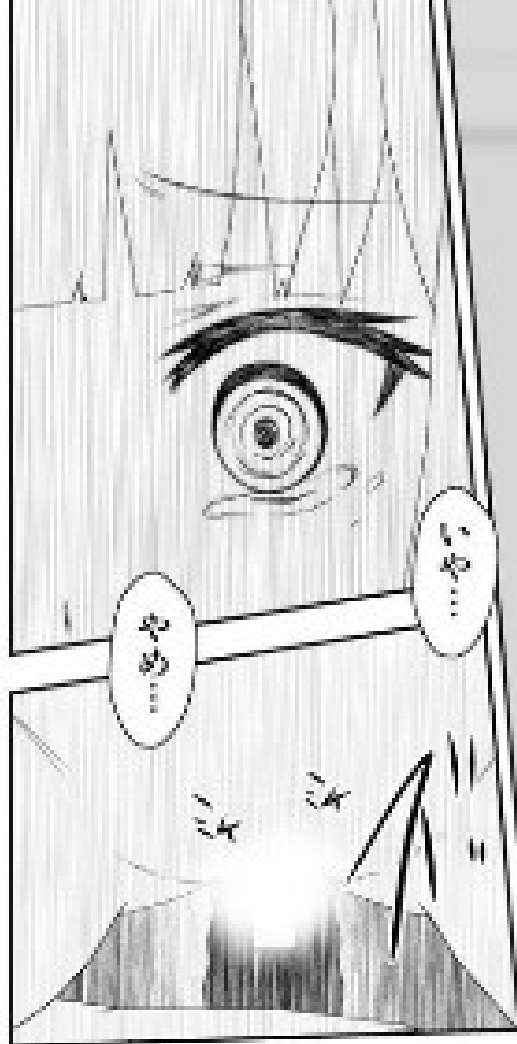


この可愛らしい
お豆です

さで
残りには







ええ...

いっ...



そして心行くまで
イキ果てるのです

さあ
私の上にまたがって
腰を振りなさい



あああ



あー

あら

あら

まさか性奴隷に相応しい姿です

142 142



あら
みなさんに聞こえるように
大声で解説しなさい

自分が今何を
しているのかを

いや...!!
そんなこと
したくない...!!

この国の姫として...
そんなことを
口にするなんて...!!







ふふふ
くらぐらぐら

その悔しそうなる表情

生前のレイス様に
そっくりだ

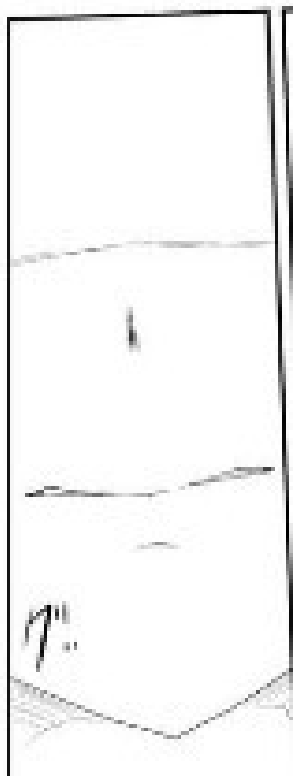


わん...
わん...

お母さまを...
懐かないで...



レイス様も
いつも悔しそうに
私のチンポでイキ
果でていましたよ



優しくて...
温かかった...
お母さまを...

私の大切な...



イッ……イッ……イッ……

私……

気持ちいい……

イッ……

イッ

イッ



おやおや

なんですか
その濡けたお顔は

もう快感に思考を
奪われてしまいましたか



やはりオモチャには
まだ早すぎましたか

ええ

その通りです



私も...

お母さま...

あなたの
オモチャなんかじゃ
ありません...!!

な...

ハカ...

ハ...

クク...

お母さま...!!



ディーバ
あなたが
言ったのですよ

頬の傷はお母さまが
呪いを振り切って
つけたものだ

私を思う心が
あなたの呪いを
越えたのだと



その傷は
お母さまが残した
私への導きだった
のでしよう

私ならきつと
呪いなど振り
越えられるのだと



だが…
所詮小娘の組織

「お母さまは…」



バカな…
あの頃はまだ呪いが
深まっていなかったよ…

呪王級にまで
深まった私の力を
振りほどけるわけが…



リサ!!



さすか...
姫様です



だが...
姫様が作って
くれたこの好機
絶対逃すわけに
いくものか!!!

力はせいぼとたて
入らない!!!



運が効いて
動けないはずでは...!!!

なは...!!!



この女は貴様の
相手だろ!!!
なんとかしろ!!!

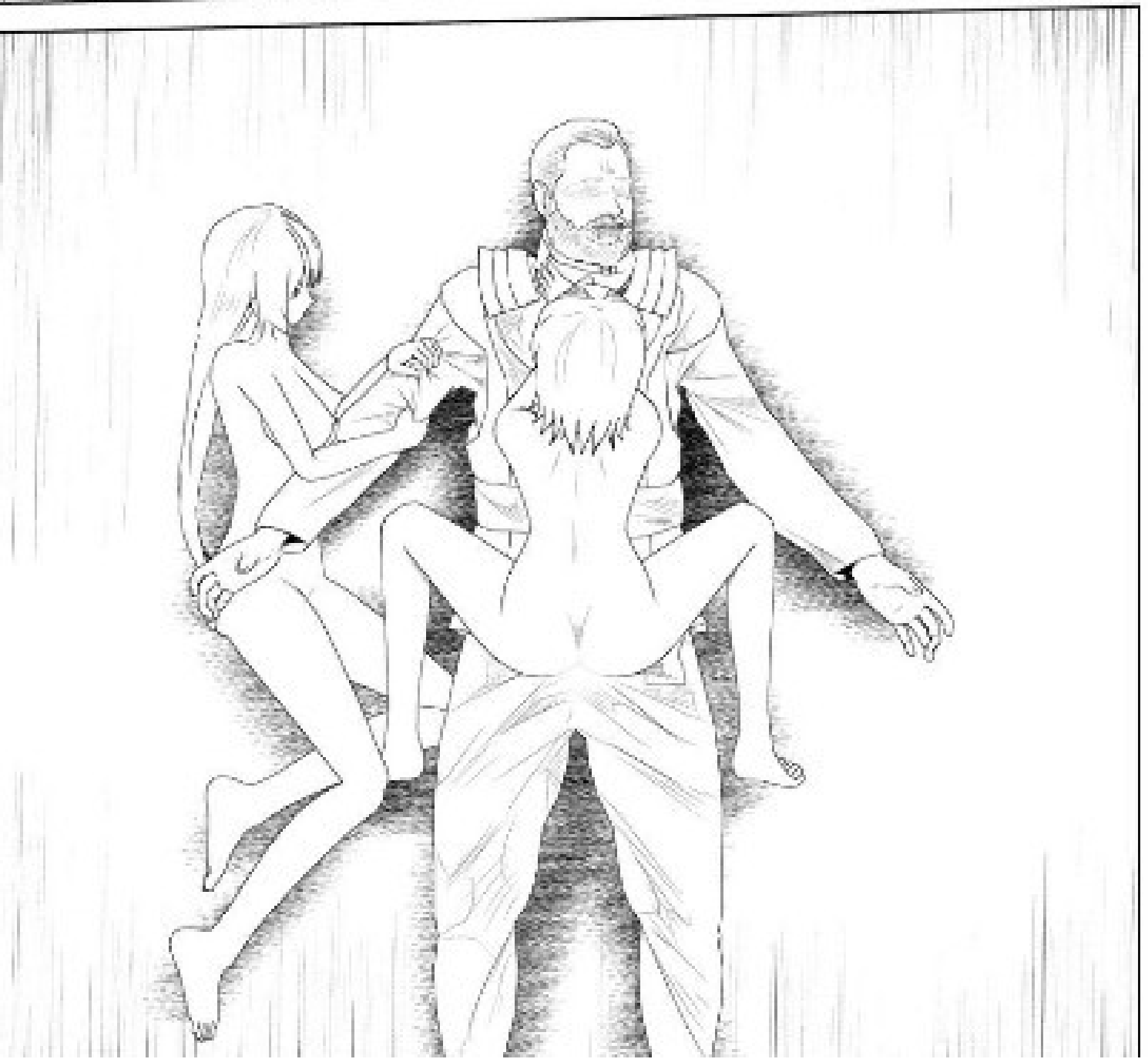


何をしている
騎士士の男!!!



姫様を交えぬと!!!

命を振る勢いどけ!!!





アリス様…

切切

終わったんです…

切切



もう…

離して
いいですよ



私こそ…
姫様を守れないで…

いいえ…
姫様はまた私を
助けてくれました…



…リサ
ごめんなさい…

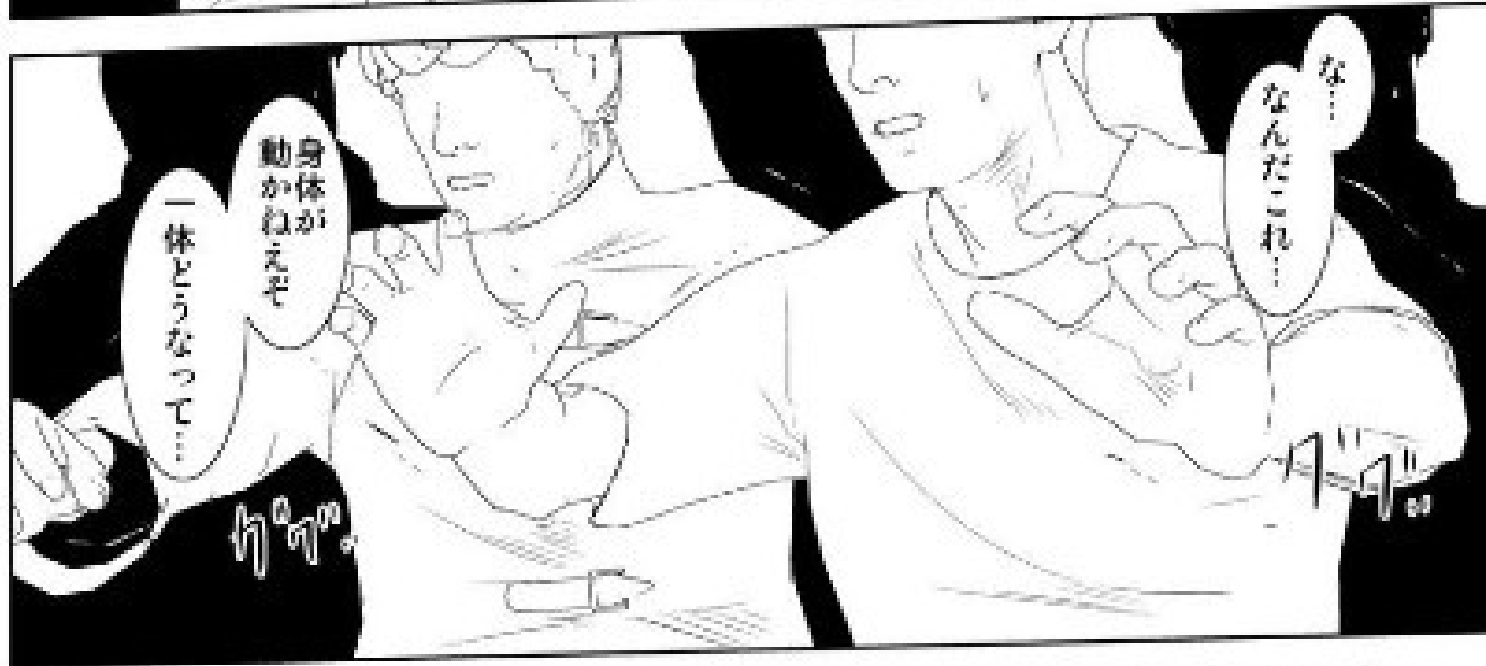
私をもっと
ちゃんとしていれば…
あなたは
こんなに傷つかずに…



おいおい
なに感傷に
浸ってるんだ
お二人さん

!!







To be continued

